

## 事務事業マネジメントシート

事務事業名		女性活躍推進事業				本年度担当課	人権・男女共同参画課	
						前年度担当課	人権・男女共同参画課	
政策 体系	基本目標	07 市民参加による自立したまちづくり				新規・継続	継続事業	
	政策	01 人権を尊重した市民参加によるまちづくり				実施計画・一般	実計計画事業	
	施策	02 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現				市単独・国県補助	市単独事業	
	基本事業	03 地域・社会における女性活躍の推進				任意・義務	任意的事業	
予算 科目	会計	款 項 目 予算事業名				実施方法	直営	
	一般	02	01	16	女性活躍推進事業	事業分類	人材育成事業	
事業計画		単年度繰り返し		事業期間	昭和55年度 ~			
根拠法令・条例等		女性活躍推進法、佐野市男女共同参画推進条例						

### 1. 事務事業の現状把握【D0】

#### (1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段 (事務事業の主な活動内容を記入します。)																
事業概要 (具体的な事務事業の活動内容・進め方)					令和4年度実績 (令和4年度に行った主な活動内容)											
あらゆる分野において、女性の活躍を推進するため、各種講座(女性のキャリアアップ講座、働き方改革講座等)の開催や県主催の研修会等へ参加する市民を支援するとともに女性人材バンクの活用を推進する。また、ワークライフバランス等の啓発を展開する。					・講座等の開催 6回 (女性のキャリアアップ講座3回、働き方改革講座、事業所研修会、地域指導者研修) ・女性の再就職相談会等の開催 15回 (定例相談12回、出張相談2回、再就職セミナー) ・とちぎウーマン応援塾へ参加した市民(4名)の鉄道賃支援 ・女性人材バンク登録者15名、審議会等への登用2名											
										活動指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
										講座等の実施回数	回	0	6	6	6	6
再就職相談会等の実施回数	回	11	15	15	15	15										
②対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?)																
市民 (女性)					対象指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)					
					女性市民数 (住民基本台帳4/1現在)	人	58,844	58,235								
③意図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)																
女性活躍に係る講座、再就職の相談会等に参加する市民が増える					成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
					女性活躍の講座等の参加者数	人	目標 160	165	165	170	170					
					再就職相談会、準備セミナー等の参加者数	人	実績 0	104								
							目標 30	31	32	32	32					
④結果 (どのような結果に結びつきますか?)																
市民が男女共同参画の理解を深めるとともに、あらゆる分野における女性の参画を推進する。					上位成果指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度					
					男女の地位は平等と考える市民 (社会全体)	%	目標 27	27.5	28	28.5	29					
					審議会等委員に占める女性の割合	%	実績 12.4	13.4								
							目標 31	31.5	32	32.5	33					
		実績 27.3	27.5													

#### (2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	1	195	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	1	195	0	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
					旅費	153		
					報償費	42		
人件費	職員従事工数	人工	0	0.1	0	0	0	
	人件費計(B)	千円	0	729	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1	924	0	0	0	

**B表（事後評価シート）**

事務事業名	女性活躍推進事業	本年度担当課	人権・男女共同参画課
		前年度担当課	人権・男女共同参画課

**(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等**

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	女性活躍や女性の人材育成に係る事業については、昭和50年が国際婦人年であり、翌年からの10年間で「国際婦人の10年」とされ、県の女性海外研修がその中間年にあたる昭和55年に国際的視野を持った女性リーダーを養成するため開始され、本市市民も参加した。
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	平成28年に「女性活躍推進法」が制定され、女性の職業生活における活躍を推進し、指導的地位に就く女性が増える土壌が形成されつつある。また、令和2年12月に閣議決定された第5次男女共同参画基本計画では、「指導的地位の女性の割合を2020年代の可能な限り早期に30%程度となる」よう目指して取組を進めている。
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	講座等の参加者からは「よい経験ができた。」との意見が寄せられている。また、県のウーマン応援塾の参加者からは「県内での人脈ができた。」等の話があった。

**(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組**

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組

**2. 事務事業の事後評価【Check】**

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	⑥類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない			向上した
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
男女共同参画プラン（第3期）に基づき、各施策を実施した。男性の意識改革講座、女性のキャリアアップ講座など予定どおり開催することができた。			成果向上余地がある程度ある
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	
令和4年度から、それまでコロナ禍で中止等していた講座等について、再開した。目標の参加者数は達成できなかったが、多くの市民に参加していただいた。再就職相談については、令和3年度から、会場をこどもの国とした。相談者の利便性を高めていることなどにより、少しずつではあるが、相談件数は増えている。		講座等の参加者を増やすため、市民への周知方法を充実させ、令和4年度から、広報紙や市HPに加え、SNSによる発信を始めた。SNSは、特に若い世代に効果があるため、引き続き活用する。	

**3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】**

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
目標達成度	大			事業のやり方改善（成果向上の見直し） * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 講座等の内容（講師、題目等）が、より女性活躍推進の趣旨に合ったものとなるよう検討する。また、市民等への周知方法を充実する。	社会全体では、男性中心の慣行がまだまだ根強い。市民の男女共同参画や女性活躍推進の意識の向上のため、家庭、地域、事業所等における意識改革を強く促していかなければならない。
	中		○		
	小				
	成果向上余地				

## 事務事業マネジメントシート

事務事業名		男女共同参画推進センター運営事業				本年度担当課	人権・男女共同参画課			
						前年度担当課	人権・男女共同参画課			
政策 体系	基本目標	07 市民参加による自立したまちづくり				新規・継続	継続事業			
	政策	01 人権を尊重した市民参加によるまちづくり				実施計画・一般	一般事業			
	施策	02 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現				市単独・国県補助	市単独事業			
	基本事業	03 地域・社会における女性活躍の推進				任意・義務	任意的事業			
予算 科目	会計	款 項 目 予算事業名				事業 区 分	実施方法		一部委託	
	一般	02	01	16	男女共同参画推進センター運営事業		事業分類		啓発事業	
事業計画		単年度繰り返し		事業期間	平成21年度 ~		市長公約		該当なし	
							総合戦略		該当なし	
根拠法令・条例等		佐野市男女共同参画推進センター条例、佐野市男女共同参画推進センター条例施行規則								

### 1. 事務事業の現状把握【D0】

#### (1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段（事務事業の主な活動内容を記入します。）											
事業概要（具体的な事務事業の活動内容・進め方）				令和4年度実績（令和4年度に行った主な活動内容）							
男女共同参画社会の実現に向けた施策の実施及び団体等の活動拠点である佐野市男女共同参画推進センター（パレットプラザさの）の利用促進のための運営を行う。				・団体企画実践講座の開催(5回) ・新たに参考図書を7冊（図書6冊、白書1冊）配架し、広報紙やホームページ等で貸出等の情報提供							
				活動指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
				団体企画講座実施回数	回	2	5	5	5	5	
新たな参考図書配架冊数	冊	6	7	7	7	7					
②対象（この事務事業は誰・何を対象としていますか？）											
男女共同参画推進センター				対象指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
				関連団体数		団体	11	17	15	15	15
				所蔵図書数		冊	179	186	193	200	207
③意図（この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか？）											
男女共同参画推進センターの利用促進を図る。				成果指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
				センター利用回数		回	目標 110	110	110	110	110
							実績 87	91			
				センター利用者数		人	目標 680	680	680	680	
							実績 542	585			
④結果（どのような結果に結びつきますか？）											
市民が男女共同参画の理解を深める。				上位成果指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
				男女の地位は平等と考える市民（社会全体）		%	目標 27	27.5	28	28.5	29
							実績 12.4	13.4			
							目標				
							実績				

#### (2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	R3年度（実績）		R4年度（実績）		R5年度（目標）		R6年度（目標）		R7年度（目標）			
	国庫支出金	千円	0		0		0		0		0			
	県支出金	千円	0		0		0		0		0			
	地方債	千円	0		0		0		0		0			
	その他	千円	0		0		0		0		0			
	一般財源	千円	146		210		0		0		0			
	事業費計(A)	千円	146		210		0		0		0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費		項目	事業費		項目	事業費		項目	事業費	
					委託料	109								
					役務費	73								
					需用費	15								
				使用料及び賃借料	14									
人件費	職員従事工数	人工	0		0.04		0		0		0			
	人件費計(B)	千円	0		291		0		0		0			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	146		501		0		0		0			

B表（事後評価シート）

事務事業名	男女共同参画推進センター運営事業	本年度担当課	人権・男女共同参画課
		前年度担当課	人権・男女共同参画課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成21年1月から佐野市男女共同参画推進センター条例が施行となり、平成21年4月からセンターとしての事業運営を開始した。平成28年11月に利便性向上のため、田沼行政センター2階に移転した。
②事務事業を取り巻く環境（対象者や国・県などの法令等、社会情勢など）は事務事業の開始時期と比べてどのように変化していますか？	国の第5次男女共同参画基本計画において、男女共同参画社会の実現には、地域の実情や特性を踏まえた主体的な取組が極めて重要であり、地方公共団体が、男女共同参画センターをはじめ地域の関係機関・団体とともにそれぞれの機能を十分に発揮しながら緊密に連携し、地域における男女共同参画・女性活躍を進めるよう支援の充実を図るとしている。
③この事務事業に対して、当該年度中、関係者（市民、議会、事務事業対象者）からどのような意見・要望がありますか？	団体企画実践講座を委託している男女共同参画ネットワークさのとの、開催回数、開催方法、講座内容などについて、継続的に協議している。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善（成果向上の見直し）	団体企画実践講座の開催回数は5回予定しており、一回当たりの講座に要する費用の上限を設け同額としている。令和4年度は、団体企画講座の手続きについて、市とのやりとりのマニュアルを作成し、手続きの円滑化を図った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければならない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	⑥類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	向上した
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
団体企画実践講座は、一回当たりの講座に要する費用の上限を設け同額としたことにより、各講座ともに一定の水準で開催され、参加者へ一定の啓発効果が確保できたものと考えている。			成果向上余地がある程度ある
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由		⑪目標達成に向けて必要となる取組内容	
団体企画講座については、男女共同参画推進センターで開催することを基本としているが、令和4年度は、市の直営の講座も含めて、地区公民館等で開催したものもあり、男女共同参画推進センターの利用増につながらなかった。ただし、男女共同参画ネットワークさのの代表者会や、ネットワークさのの所属団体の会議、市の相談等で利用され、一定の利用団体、利用者数を確保できた。		団体企画実践講座や市の直営の講座については、男女共同参画推進センターを会場とすることを基本とし、利用団体、利用者数の増を図る。 また、男女共同参画センターが保有する書籍等の貸し出しのPRを行い、書籍等の利用促進を図る。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題（壁）とその解決策
目標達成度	大			事業のやり方改善（成果向上の見直し） * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 男女共同参画推進センター利用の活性化を図るため、男女共同参画ネットワークさのの代表者会等で、所属団体等の活動も含め、男女共同参画推進センター利用のPRを行う。 市の講座や相談業務も、引き続き男女共同参画推進センターの利用を基本とする。	男女共同参画推進センターの利用団体、利用者数の増を図るうえでの課題は、佐野地区からは遠いと思われることと推察される。 しかし、男女共同参画推進センターは、広い駐車場を有し、また、エレベーターを備えたバリアフリー構造であるため、この点をPRし、利用促進を図る。
	中		○		
	小				
	成果向上余地				